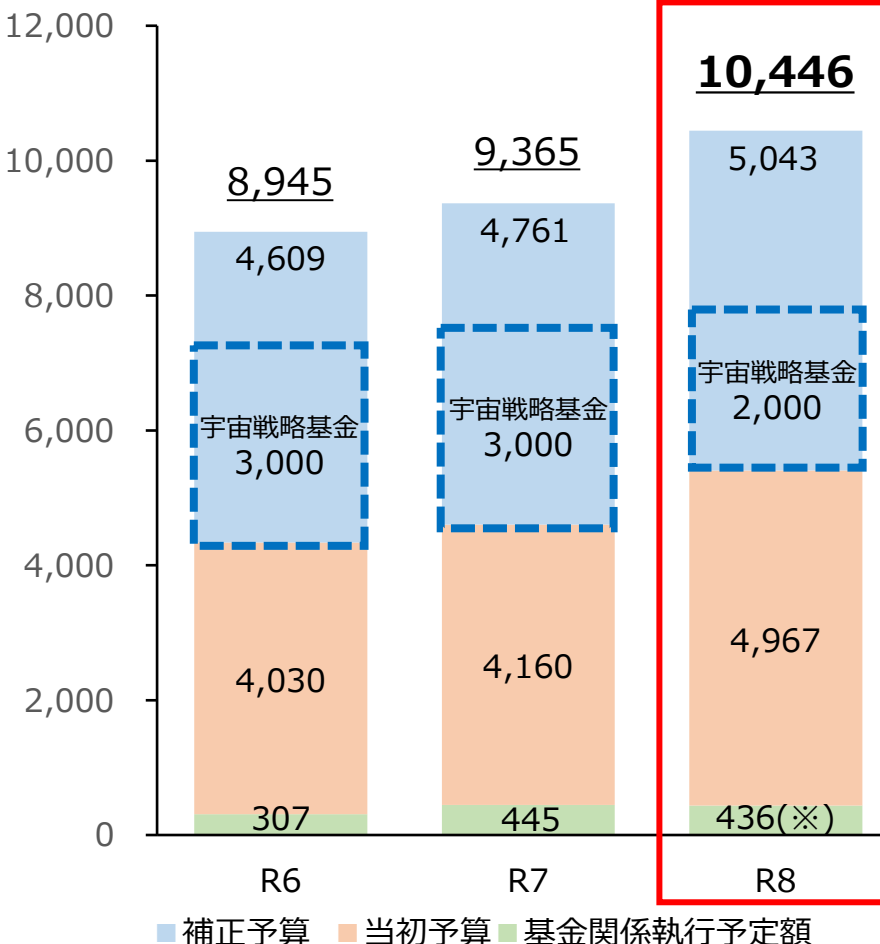


令和8年度当初予算案及び令和7年度補正予算における宇宙関係予算

合計 1兆446億円（対前年度比1,081億円増 [+12%]）

（令和8年度当初予算案 4,967億円 + 令和7年度補正予算 5,043億円 + 令和8年度基金関係執行予定額 436億円）
（令和7年度当初予算 + 令和6年度補正予算 + 令和7年度基金関係執行予定額 9,365億円）

（単位：億円）



府省名	R7補正		R8当初（案）		合計	
		対前年		対前年		対前年
1. 内閣官房	328	+3	622	▲0	950	+3
2. 内閣府	190	+2	214	+8	404	+10
3. 警察庁	-	-	9	+0	9	+0
4. 総務省	1,825	+1,275	87	▲7	1,911	+1,267
5. 外務省	5	+5	3	+0	8	+5
6. 文部科学省	1,555	▲597	1,518	+2	3,073	▲595
7. 農林水産省	100	+71	35	▲10	135	+61
8. 経済産業省	886	▲114	53	▲20	939	▲134
9. 国土交通省	121	▲359	188	▲20	309	▲379
10. 環境省	3	+3	55	+1	58	+4
11. 防衛省	30	▲6	2,183	+854	2,213	+847
合計	5,043	+282	4,967	+807	10,010	+1,090

（注）四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

※「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプロ）及びSBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマについて、436億円を計上（令和7年12月時点見込み）。

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計： 1兆 446億円

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	<u>950億円</u>	【農林水産省】	<u>135億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用	950億円	● スマート農業技術開発・供給加速化対策	90億円
【内閣府】	<u>404億円</u>	【経済産業省】	<u>939億円</u>
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	340億円	● 宇宙戦略基金（経済産業省計上分）	740億円
● 宇宙開発利用推進費	41億円	● 経済安全保障の確保に資するサプライチェーン	146億円
● 中央防災無線網の運用等	5億円	の強靱化事業（人工衛星、ロケットの部品）	
● 衛星データ等を活用した船舶警戒監視システム開発・運用	6億円の内数	※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（166億円）	
【警察庁】	<u>9億円</u>	及びSBIRフェーズ3基金（91億円）	合計257億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9億円	【国土交通省】	<u>309億円</u>
【総務省】	<u>1,911億円</u>	● 無操縦者航空機の運用等	119億円
● 宇宙戦略基金（総務省計上分）	310億円	● 人工衛星の測量分野への利活用	71億円
● 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業	1,500億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	25億円
● 革新的情報通信技術（Beyond 5G(6G)）基金事業	239億円の内数	● 次期静止気象衛星の整備	65億円
【外務省】	<u>8億円</u>	【環境省】	<u>58億円</u>
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	40億円
● 宇宙技術を活用したアフリカ・太平洋島嶼国の	5億円	【防衛省】※歳出予定額を記載	<u>2,213億円</u>
災害対応力強化及び画像分析基盤の強化		● 衛星コンステレーションの構築	262億円
※この他、無償資金協力およびJICA交付金（3,012億円）		● 次期防衛通信衛星等の整備	208億円
の一部にて、グローバルサウスへの宇宙分野に関する援助を実施		● 次世代防衛技術実証衛星の開発	24億円
【文部科学省】	<u>3,073億円</u>	● 画像解析用データの取得	241億円
● 宇宙戦略基金（文部科学省計上分）	950億円		
● 基幹ロケットの開発・高度化、打上げ高頻度化	203億円		
● 将来宇宙輸送システムに向けた研究開発	38億円		
● RAMSES（プラネタリーディフェンスのための小惑星探査）	48億円		
● アルテミス計画に向けた研究開発等	487億円		
※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（49億円）			
及びSBIRフェーズ3基金（130億円）	合計179億円		